

日本国際理解教育学会

Japanese Association for International Education

第25回

研究大会プログラム

The 25th Annual Conference at Chuo University

2015 6.13^土 - 14^日



日程

● 理事会 6月12日(金) 18:00-20:00 [中央大学 1号館 1409 (A)号室]

● 第1日 6月13日(土)

9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	17:00	17:30	19:30
受付	自由研究発表	昼食	総会	公開シンポジウム	移動	懇親会	

● 第2日 6月14日(日)

9:00	9:30	11:30	12:00	13:00	16:00
受付	自由研究発表	昼食	ポスターセッション	課題研究発表	

会場

中央大学
多摩キャンパス

【主催】日本国際理解教育学会

【シンポジウム開催】中央大学

【後援】中央大学／八王子市／東京都教育委員会
八王子市教育委員会／八王子国際協会

【お問合せ】

日本国際理解教育学会 第25回研究大会実行委員会
〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

中央大学文学部 森茂岳雄研究室

Tel & Fax : 042-674-3852 / E-mail : jaie@tamacc.chuo-u.ac.jp

第1日目 6月13日(土曜日)

自由研究発表 第1分科会～第8分科会(9:30～12:00)

自由研究発表は、発表20分、質疑応答10分の30分です。当日は、タイムキーパーから15分、20分、30分に鈴でお知らせします。20分の時には、発表の途中であっても直ちに終了をお願いしますので、ご了承ください。

■ 第1分科会 [3201 教室]

司会：小林 亮(玉川大学)・伊井 直比呂(大阪府立大学)

- (1) 中国におけるユネスコ教育理念の受容と変容－国際主義教育から国際理解教育へ－
鄒 聖傑(中央大学大学院)
- (2) ユネスコ世界大会(Student Forum)の成果と意義
－UNESCOの中での位置づけと未来性－
浅井 孝司(沖縄科学技術大学院大学)
伊井 直比呂(大阪府立大学)
- (3) ユネスコスクールの課題と将来展望
－地球市民教育を軸としたユネスコの価値教育との関連－
小林 亮(玉川大学)
- (4) 「ESDの10年」をとらえ直す
－批判的思考と創造的思考で読み解く「ユネスコスクール宣言」等－
永田 佳之(聖心女子大学)
- (5) Key Issues and Challenges in the Implementation of GCED
Pak Soon-Yong (Yonsei University)

■ 第2分科会 [3202 教室]

司会：中澤 静男(奈良教育大学)・石川 一喜(拓殖大学)

- (1) D-ESD後の国際理解教育の実践上の課題
－「平和」をコアにしたホールスクールアプローチの実践を通して－
小嶋 祐伺郎(奈良教育大学附属中学校)
- (2) ESDと世界遺産教育の統一的指導と評価
－小笠原諸島を事例にして－
藤原 隆範(広島大学附属中・高等学校)

(3) ESD における「自分自身と社会を変容させるための学び」への示唆

－自由学園最高学部生への聞き取り調査をもとに－

曾我 幸代（法政大学・金城学院大学）

(4) グローバルキャリア人育成に資する ESD の授業実践

－グローバル化と人間の安全保障－

森田 育志（神戸大学附属中等教育学校）

(5) ESD を通して育まれるもの－「高尾山学のスヌメ」プロジェクトの実践より－

石川 一喜（拓殖大学）

■ 第3分科会 [3203 教室]

司会：山西 優二（早稲田大学）・山中 信幸（川崎医療福祉大学）

(1) 多様性の交わりとエンパワメント

－オルタナティブ教育実践の共通点と国際理解教育－

南雲 勇多（早稲田大学大学院）

(2) 学習者の社会参加を目指した開発教育における目標構造の提示

林 加奈子（桜美林大学）

(3) 開発教育の視座から捉えた福祉教育の実践

山中 信幸（川崎医療福祉大学）

(4) 国際理解教育と「地域」

小瑶 史朗（弘前大学）

(5) 地域における子どもを対象とした市民性の育成に関する研究

本多 千明（武庫川女子大学）

■ 第4分科会 [3207 教室]

司会：森田 真樹（立命館大学）・橋崎 頼子（奈良教育大学）

(1) 小学生の時事問題学習－グローバル・シティズンシップをどのように育てるか－

西村 美智子（中央大学大学院）

(2) 中学校におけるグローバルシティズンシップ教育の可能性

松倉 紗野香（埼玉県上尾市立東中学校）

(3) グローバルな視野育成のための社会科の授業方略

内山 知一（奈良教育大学）

(4) The Application of Global Citizenship Education for Young Children into Nuri Curriculum through Virtual Intercultural Exchange

Jee-Hyu Bae (Sungshin Women's University Graduate school)

(5) Trying for Global Citizenship Education in Elementary School:

Improving Children's Multicultural Sensibility

Sunyoung Lee (Seoul National University of Education)

■ **第5分科会 [3208 教室]**

司会：釜田 聡 (上越教育大学)・桐谷 正信 (埼玉大学)

(1) 文化的多様性と宗教に関する学習－中学校社会科地理的分野の取り組みから－

木村 真冬 (お茶の水女子大学附属中学校)

(2) 学校設定科目「異文化の世界」授業実践と生徒の学び

金田 修治 (大阪府立三島高等学校)

(3) ゲームと日本をつなぐ教育実践

－ポストコロニアルな視点にたった先住民学習の具現にむけて－

中山 京子 (帝京大学)

居城 勝彦 (東京学芸大学附属世田谷小学校)

東 優也 (帝京大学・学生)

(4) ファッションから考える世界とのつながり

－教養学部「アースミュージアム」プロジェクト実践から－

岩本 泰 (東海大学)

(5) Global Citizenship Education in South Korea: Who Participates and Why ?

Arah Goh (Seoul National University)

■ **第6分科会 [3209 教室]**

司会：松尾 知明 (国立教育政策研究所)・風巻 浩 (神奈川県立麻生高等学校)

(1) 教育施策における「共生」概念の歴史と課題

吉田 直子 (東京大学大学院)

(2) 市民性教育としての多文化教育の検討－メイラ・レヴィンソンの論を通して－

藤本 奈美 (京都大学大学院)

(3) 共生の心を育む国際理解教育とは

－始めよう！ グローバル時代のまちづくり・学級づくり－

西 薫 (岐阜県瑞穂市立生津小学校)

(4) 高校における多文化共生教育

山根 俊彦 (横浜国立大学大学院)

(5) 多文化家庭の子育て戦略 – 中国・韓国に住む日本人父親の視点から –

渡辺 幸倫 (相模女子大学)

■ 第7分科会 [3260 教室]

司会：宇土 泰寛 (椋山女学園大学)・南 美佐江 (奈良教育大学附属中等教育学校)

(1) 小学校外国語活動における6年間のカリキュラム

– 国際理解教育の要素をどのように入れるか –

杉本 孝美 (同志社女子大学大学院)

(2) 英語活動の中の国際理解教育 – 日・フィリピンの小学校間の交流活動を通じて –

石坂 広樹 (鳴門教育大学)

畑江 美佳 (鳴門教育大学)

田村 和之 (鳴門教育大学)

(3) 一条校におけるIBDP-TOKの趣旨を踏まえた国語教育の構想と展開

井上 志音 (灘中学校・灘高等学校、神戸大学大学院)

(4) 国際理解教育における民話の役割とは

竹本 紗野香 (早稲田大学大学院)

(5) Implementation of Story in History Class for International Understanding

Shin-Hye Heo (Hannam University)

■ 第8分科会 [3259 教室]

司会：今田 晃一 (文教大学)・荒川 裕紀 (北九州工業高等専門学校)

(1) 留学生のアウトリーチ活動の一考察 – 学習環境デザインの視点から –

清水 貴恵 (桜美林大学)

(2) ICTを活用した国際交流活動

田上 達人 (長野県松本市立寿小学校)

(3) メディアにおける再現の観点から国際理解教育への接近 – 大学の授業の実践から –

Kim Dawon (韓国：光州教育大学校)

Kim Sunmi (韓国：中央大学校)

(4) 異文化理解支援のためのソーシャルコンテンツデザイン

黒部 香与 (東京工科大学)

飯沼 瑞穂 (東京工科大学)

(5) 大学生による国際交流プロジェクト導入ワークショップの在り方

清水 和久 (金沢星稜大学)

昼食 (12:00 ~ 13:00)

総会 : 3114 教室 (13:00 ~ 14:00)

中央大学共催 公開シンポジウム (14:00 ~ 17:00) 3115 教室

グローバル・シティズンシップの育成と国際理解教育

司会：森茂 岳雄（中央大学）・藤原 孝章（同志社女子大学）

シンポジスト：

SGH で取り組む「グローバルシティズン」と「グローバルリーダー」の育成

石森 広美（宮城県仙台二華高等学校）

IB における概念を基盤とした探究的な学び

山本 勝治（東京学芸大学国際中等教育学校）

グローバル人材育成プログラムで浮かび上がり、掘り下げられる自己と他者

若林 茂則（中央大学）

韓国のグローバル競争力の強化教育と国際理解教育－同床異夢の教育実践－

韓 健洙（韓国：江原大学校）

ディスカッサント：

佐藤 郡衛（目白大学）

趣 旨：

近年、日本では 21 世紀の教育政策課題として「グローバル人材の育成」があげられ、高等教育を中心に、経済界や各省庁が一丸となって改革を進めてきている。そこで求められているのは、「世界に勝てる真のグローバル人材」（日本再興戦略）であり、「経済社会の活力の維持・向上に貢献できる人材」（経団連）である。このような今日の教育改革に対して、平和、人権、民主主義、寛容、持続的発展等の価値を重視したグローバル・シティズンシップの育成（UNESCO）をその目標に掲げてきた国際理解教育はどのような提案ができるか。グローバル社会に求められている資質・能力とは何か。そのような資質をどのように育てるか。本シンポジウムでは、グローバル時代の教育モデルとされている IB スクールやスーパーグローバル・ハイスクール、グローバル人材育成に取り組んでいる大学、グローバル競争力の育成が叫ばれている韓国における具体的な教育実践の検討を通して問い直す。

懇親会 (17:30 ~ 19:30)

会 場：中央大学 1 号館 4 階 1406 号室

第2日目 6月14日(日曜日)

自由研究発表 第9分科会～第15分科会(9:30～12:00)

自由研究発表は、発表20分、質疑応答10分の30分です。当日は、タイムキーパーから15分、20分、30分に鈴でお知らせします。20分の時には、発表の途中であっても直ちに終了をお願いしますので、ご了承ください。

■ 第9分科会 [3201 教室]

司会：成田 喜一郎(東京学芸大学)・石森 広美(仙台二華高等学校)

(1) 国際理解教育における実践研究の課題と示唆

－多様なアプローチによる実践記述方法に着目して－

津山 直樹(中央大学大学院)

(2) 国際理解教育を題材とした課題解決型学習

大塚 圭(中央大学杉並高等学校)

(3) SGHが取り組む探究型学習の評価－課題研究を事例として－

石森 広美(宮城県仙台二華高等学校)

(4) 「貧困・紛争・人権」をテーマとした国際理解教育実践

－ふりかえりシート分析からのネットワークの様相－

菊地 恵美子(郡山ザベリオ学園中学校)

(5) デイバートを通じて得られるもの－国際的エンジニアを育てるための－考察－

荒川 裕紀(北九州工業高等専門学校)

■ 第10分科会 [3202 教室]

司会：市瀬 智紀(宮城教育大学)・中山 京子(帝京大学)

(1) アジア6ヵ国の若者による国境を越えた協働学習

－グローバル・イシューに挑むESD RICE Project－

望月 浩明(神奈川県立有馬高校)

半澤 ゆかり(神奈川県立有馬高校)

永田 佳之(聖心女子大学)

(2) 「つながり」を大切にしたESDの教育実践

中井 精一(堺市立家原寺小学校)

(3) ESDで未来につながる学びの場づくり－蓬来小“生きる”プロジェクト－

林 敏博(名古屋市立蓬来小学校)

(4) 小学校における日常的な活動を生かした多様性教育の実践

幸田 隆 (豊田市立若松東小学校)

(5) 学ぶ目的意識と相手意識を世界に広げて「思考・表現」力をつける

－小学4年生と台湾の児童との国際交流・壁画制作活動の実践を通して－

西野 聡子 (金沢市立米泉小学校)

■ 第11分科会 [3203 教室]

司会：渡部 淳 (日本大学)・吉村 雅仁 (奈良教育大学)

(1) ことばに内在する文化と国際理解教育－音、文字、語彙の視点から－

小野寺 美奈 (早稲田大学)

(2) 「からだことば」に見出す文化理解の学び

丸山 貴彦 (早稲田大学大学院)

(3) 演劇におけることばと身体にみる想像力

宮野 祥子 (早稲田大学)

(4) コロキウム『「からだ」と『ことば』の実践を通して

南 美佐江 (奈良女子大学附属中等教育学校)

(5) 多文化社会における「ことばの教育」の可能性

－多言語多文化教材サイトを活用した実践をふまえて－

服部 圭子 (近畿大学)

佐藤 美和 (TCC 日本語学校)

秦 さやか (新宿区立淀橋第四小学校)

岡本 能里子 (東京国際大学)

■ 第12分科会 [3207 教室]

司会：井ノ口 貴史 (京都橘大学)・竹内 久顕 (東京女子大学)

(1) 続・戦後の英語教育は「HIROSIMA」をどう教えてきたのか？

長谷川 功 (桐蔭学園中学・高等学校)

(2) 戦争体験者のビデオ・メッセージを用いた教育実践－NPO 法人による国際理解－

神 直子 (NPO 法人ブリッジ・フォー・ピース)

(3) 平和学から平和教育へ

－世界平和を直接に構想する学習のカリキュラム開発と実践報告－

野島 大輔 (関西学院千里国際中・高等部、立命館大学大学院)

(4) 特別活動における「異なる文化や文明との共存」の可能性

－歴史認識の違いを乗り越える実践を手掛かりにして－

福山 文子（中央大学）

(5) 大学生の「よい市民」像と学校観－「若者の共生意識調査」の結果－

野崎 志帆（甲南女子大学）

■ 第13分科会 [3208 教室]

司会：大津 和子（北海道教育大学）・織田 雪江（同志社中学校）

(1) 日本のアフリカ観－中学校社会科カリキュラム・教科書の影響と課題－

山崎 瑛莉（上智大学大学院）

(2) アフリカ SD ゲーム 2014 実践報告

辻 良隆（大阪市立汎愛高等学校）

(3) グローカルな視点から生まれる大陸間教育活動のための現地調査

－タンザニアの事例を中心に－

宇土 泰寛（椋山女学園大学）

(4) 大学における国際理解教育の実践

－文教大学国際学部ニューヨーク国連研修の事例より－

生田 祐子（文教大学）

(5) JICA 教師海外研修の変遷と国際理解教育 (3)

－中央一括開催期（1965～2003年度）の報告書の分析を通して－

松井 克行（西九州大学）

■ 第14分科会 [3209 教室]

司会：田中 泉（広島経済大学）・吉村 功太郎（宮崎大学）

(1) 主体性を育む海外教育プログラム－広島経済大学興動館プロジェクト (1)－

榎本 伸悦（広島経済大学）

(2) 主体性を育む海外教育プログラム－広島経済大学興動館プロジェクト (2)－

田中 泉（広島経済大学）

(3) 海外日本語教師アシスタント実習プログラムにおける異文化理解

－中央大学 SEND プログラム（日本語教育）を事例として－

青木 香代子（中央大学）

若林 茂則（中央大学）

森茂 岳雄（中央大学）

- (4) 国際理解教育における多角的シティズンシップの可能性－生活への注目から－
金野 誠志 (鳴門教育大学)
- (5) 人権に基づくシティズンシップ教育に関わる教師教育に関する一考察
－欧州評議会の取り組みを事例として－
橋崎 頼子 (奈良教育大学)

■ 第 15 分科会 [3260 教室]

司会：田淵 五十生 (福山市立大学)・姜 英敏 (中国：北京師範大学)

- (1) 日中 (中日) 持続的友好関係のための国際理解教育カリキュラム開発
－徐福伝説を用いて－
樊 士進 (大阪府立大学大学院)
- (2) 品德と社会課における国際理解教育
佟 磊 (中国：首都師範大学実験学校)
- (3) 地理課における国際理解教育
張 英佳 (中国：首都師範大学実験学校)
- (4) 英語課における国際理解教育
王 曉嵐 (中国：首都師範大学実験学校)
- (5) 日中共同「異己」理解・共生授業プロジェクト
日本国際理解教育学会国際委員会
永田 佳之 (聖心女子大学)
釜田 聡 (上越教育大学)
姜 英敏 (北京師範大学)
市瀬 智紀 (宮城教育大学)

■ ポスターセッション (11:30 ~ 13:00) 3259 教室

- (1) 学校及び社会教育施設における実物資料を用いた協働的な体験活動に関する実践報告
岩本 貴永 (桜美林草の根国際理解教育支援プロジェクト)
- (2) グアムと日本をつなぐ教育実践－先住民チャモロの舞踊と音楽を通して
東 優也 (帝京大学・学生)
居城 勝彦 (東京学芸大学附属世田谷小学校)
中山 京子 (帝京大学)

特定課題研究（13:00～16:00） 3159 教室

国際理解教育における実践研究のモデルを探る

司会：林 敏博（名古屋市立蓬来小学校）・菊地 かおり（筑波大学大学院）

趣旨説明：嶺井 明子（筑波大学）

趣 旨：

3年間の共通テーマ「国際理解教育における教育実践と実践研究」の第2弾となる企画です。まず学会が連携して研究を進めている学校と地域の実践事例を報告していただき、それを手がかりとして、実践研究のコミュニティーはどのように形成されうるのか、研究的実践者・実践的研究者の自立にむけた道筋がどのようなものなのか、昨年好評だったワークショップ方式で考えます。

■ 第一部 報告

1 兵庫県立尼崎小田高等学校の事例

井ノ口 貴史（京都橘大学）

小林 哲（兵庫県立尼崎小田高等学校）

2 武蔵野市国際交流協会（MIA）の事例

山西 優二（早稲田大学）

村田 敦史（武蔵野市国際交流協会）

3 コメント

宇土 泰寛（椋山女学園大学）

渡部 淳（日本大学）

■ 第二部 ワークショップ

4 グループワーク

5 報告及び質問

6 まとめ

大津 和子（北海道教育大学）

大会参加費，懇親会費，昼食等

本大会への参加申込みにつきましては、参加申込用紙にご記入の上、郵送または E-mail 添付にて、4月30日（木）必着でお申込み下さい。参加申し込み用紙は、学会 HP からダウンロードできます。なお、参加費等につきましては、先日お送りした振込用紙にて、5月29日（金）までにお支払い下さい。

(1) 大会参加費

- ・事前振り込み：一般 3,000 円，学生・院生 2,000 円
- ・当日：一般 3,500 円，学生・院生 2,500 円

*当日の受付は混雑が予想されますので、事前にお振り込みいただきますよう、お願い申し上げます。
なお、一度お振り込みいただきました金額は、不参加の場合でも返金しかねますので、ご了承下さい。期日（2015年5月29日）を過ぎて振り込みなされた方は、必ず「振り込み受領書」などの振り込みを証明するものを受付でご提示下さい。振り込みが確認できない場合は、当日大会参加費をいただくこともありますので、ご了承下さい。

振込先：（郵便振替） 00170 - 6 - 634235 国際理解第 25 回大会事務局

(2) 昼食

6月13日（土）は、大学構内の生協食堂をご利用いただけます。なお14日（日）は、生協食堂は営業していません。当日は弁当（1000円）を販売します。注文される方は、大会参加費と一緒に事前にお振り込み下さい。モノレール中央大学・明星大学駅改札口正面のコンビニエンスストアもご利用いただけます。

(3) 懇親会

- ・会費：5000円
- ・会場：中央大学 1号館4階 1406号室
- ・日時：2015年6月13日（土）17：30より

(4) 大会当日の案内

2015年6月13日（土）、14日（日）ともに、午前9時より受付を開始いたします。事前申込をされた方は、受付にて名札、発表抄録を、2015年度の学会費を納入された方は学会紀要『国際理解教育』第21号をお受け取り下さい。当日参加の方は、当日参加申込書にご記入の上、受付にて参加費をお納め下さい。

会場案内

中央大学多摩キャンパス ※お車でのご来校はご遠慮ください。

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

<http://www.chuo-u.ac.jp/access/>



◇ 多摩キャンパスは、多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅に直結しています。多摩モノレールへは、下記の駅から接続しています。()内はモノレールの所要時間と運賃です。

※ 京王線「高幡不動」駅（「中央大学・明星大学」まで約6分、210円）

・「高幡不動」へは、京王線「新宿」駅から特急、準特急の「京王八王子」行き、「高尾山口」行き等を利用されるのが便利です。

※ 小田急線・京王線「多摩センター」駅（「中央大学・明星大学」まで約6分、210円）

・京王線「新宿」から特急、準特急を利用、「調布」で「橋本」行きに乗換。快速「橋本」行きもご利用できます。また都営新宿線から直通する京王新線「新宿」駅発着の急行「橋本」行きもご利用できます。

・東海道新幹線をご利用の方は、「新横浜」でお降りになり、「多摩センター」においでになることもできます。「新横浜」からはJR横浜線「八王子」行きまたは「橋本」行きを利用し、「橋本」で京王相模原線に乗換です。

※ JR中央線・青梅線「立川」駅（「中央大学・明星大学」まで約16分、360円）

・JR「立川」駅から多摩モノレール「立川南」駅をご利用ください。「立川」駅と「立川南」駅はペデストリアンデッキでつながっています（徒歩約4分）。

◇ 羽田空港からお越しの方は、多摩センター駅と立川駅へのリムジンバスも利用できます。

多摩センター駅行は、1時間から1時間半間隔で運行、およそ1時間40分かかります。立川駅行は35分から1時間間隔で運行、およそ1時間35分かかります。詳しくは、羽田空港リムジンバスの時刻表 <http://hanedabus.jp/> をご参照ください。